

## 市民研究員養成講座 平成 29 年度の取組

茅野市八ヶ岳総合博物館 若宮 崇令\*

### <第2期の2年目>

今年度は市民研究員養成講座の第2期2年目である。第2期では植物、きのこ、シダ、実験工作、天文の5グループで活動を展開している。今年度新たに参加された方を含め、現在66名が活動している。時間に余裕のある方で2つのグループに参加している方もいる。

植物、きのこ、実験工作のグループは第1期から継続しているので5年目になる。第1期から継続参加している方はそれぞれの分野で相当力をつけられ、それぞれグループの活動推進力となっているようである。また、調査データ、標本等の収集も進んでいる。第2期に発足したシダと天文グループについては2年目の活動であった。シダグループは茅野市域を中心にしてシダの分布と標本製作収集活動を通じて、シダ植物についての学習を熱心に深めている。天文グループは定例の天文学習活動のほか、実際の星空を見る天体観望会、プラネタリウムの番組制作、天文グループによる公開等活発な活動を展開した。

グループ	指導者	所属	参加人数
植物	白鳥 保美 岩波 均 武居 三男 坂口 竣弥	諏訪教育会植物部会 諏訪教育会植物部会 元諏訪教育会植物部会 植物研究家	22名
きのこ	小山 明人	菌類懇話会	23名
シダ	佐藤 利幸 坂口 竣弥 田中 崇行	信州大学教授 植物研究家 大町岳陽高校教諭	10名
天文	若宮 崇令 渡辺 真由子	茅野市八ヶ岳総合博物館 茅野市八ヶ岳総合博物館	17名
実験工作	木村 正弘	諏訪東京理科大教授	10名

なお、11月に信州大学教授大窪久美子先生による「茅野の自然と私たちの暮らし」、地質研究家北澤和男先生による「諏訪の大地の歴史」、この2つの講演会を開催し、一般市民に加え市民研究員養成講座受講者全員に参加を呼び掛け、総合博物館の市民研究員として幅広い知識の習得をしてもらった。また、各グループの毎月の活動の何回かは、一般市民も参加できるものにし、参加者に市民研究員養成講座の周知を試みた結果、それを機会に数名の新たな受講者があった。

第2期各グループの主な活動内容は次の通りである。詳細については各グループの報告を見ていただきたい。

「植物グループ」 小泉山の植物調査をして、植物の同定、標本作り、リスト作成をすることをとおして、植物についての学習を深める。また、小泉山以外へも出かけ、自然環境の違いによる植物相の違いについても学習をする。

「きのこグループ」 吉田山を中心にきのこ調査をして、きのこの同定、標本作り、リスト作成をすることで、きのこについての学習を深める。また、吉田山以外へも出かけ、自然環境の違いによる植物相の違いについても学習する。さらに年1回ベルビアの催し物会場で、きのこの展示同定会を開催する。

「シダグループ」 博物館周辺および参加者の住居近くのシダを採集し、同定、標本作り、リスト作りをすることで、シダ植物の学習を深める。また、現在のこの地域のシダ植物の情報や標本を博物館に蓄積する作業をすすめる。シダは第2期から始めた新分野。

「天文グループ」 毎月1回の学習会、毎月1回の天体観望会を通じて天文学宇宙への学習を深める。時には流星群の観測等も取り入れた学習もする。今年度は10月より毎月1回昼間の星を見る会を開催し、青空の中に沈んでいる星を多くの市民に見てもらい好評であった。また、プラネタリウムの番組を製作し公開を目指したり、市民対象の天体観望会も実施した。なお、今年度はグループ制作番組をサイエンスフェスタの会場で公開し好評を得た。

「実験工作グループ」 毎月1回木村教授の指導をうけながら、子どもたちが喜んで科学工作し、科学について学べる教材の開発をしている。開発した教材は子ども科学工作クラブやワクワク科学工作教室等で実際に子どもたちに体験させ、指導し、理論と実践に強い科学名人を目指している。また、年1回茅野市が開催するサイエンスフェスタスペースを設けてもらい、実験工作グループとして参加した。今回で5回連続の参加になった。

このような活動を通して次第にその分野の力をつけた市民が、その力の発揮場所を博物館とし、調査研究、資料集保管、教育普及という博物館活動に有機的に関わってくれることを期待し、市民にとって博物館が生きがい、やりがいの場となるようにし、博物館としてはそのような市民によって支えられ高められることを期待している。

\*八ヶ岳総合博物館館長 学芸員